

## 「食事」

青木 惟

私たちは、朝・昼・晩と毎日3度の食事をして生活しています。それは、私たち人間が日々生きていくために、なくてはならないものです。もしかしたら、「私は一日2度しか食べない」、「ぼくは朝と昼は少しだけにして、夜にお腹いっぱい食べるようにしている」という人もいるかもしれませんが。

皆さんは、毎日いろいろなものを食べていると思います。そして、食事の前に「いただきます」、食べた後には「ごちそうさま」という言葉を使っていると思います。この「いただきます」という言葉と「ごちそうさま」という言葉には、どんな意味があるの？と考えたことがあるという人もいるかもしれません。私たちが食べているお米や野菜、お肉や果物は、それを作る人がいます。牛肉で言えば、牛を育てる人、育てた牛を殺す人、そして殺した牛を料理して食べる私たちがいます。このように考えると、「少し怖い」と感じるかもしれません。でも、改めて思い返してみれば、いつも私たちはスーパーやコンビニなどにある、すでに加工されてパックにして売られている牛肉しか目にしていません。「売られる前のこの牛肉はどんな姿だったんだろう」などとは、私自身もなかなか思うことができません。でも、私は牛の肉が大好きなので、これからも牛の肉を食べるでしょう。

皆さんの中にも、私と同じように牛肉が好きな人、あるいは豚肉が好きな人、鶏肉が好きな人、魚が好きな人など、様々だと思います。でも時には、食べる前でも、それ以外の時でも構いません。目の前の食事に想いを馳せてみるのもいいかもしれません。